

◆増粘剤 グレード一覧

2025-01版

形態	品名	性状				組成	特徴	用途例	
		固形分 % (粉末品は 乾燥減量%)	粘度 mPa・s/25℃ (水溶液濃度、 温度：粉末品のみ)	pH (水溶液濃度)	分子量 Mw				
アロン	粉末	A-20P-X	7%以下	400~600 (0.2%、30℃)	8.0~10.0 (0.2%)	500万	ポリアクリル酸ナトリウム	高増粘性、高曳糸性 泥水増粘、 ラテックス・塗料増粘	
	水溶液	A-20L	18±2	20,000~50,000(30℃)	8.5~9.5	120万	ポリアクリル酸ナトリウム	安定性良好、作業性良好 ラテックス・塗料増粘	
		A-7100	21±1	30,000~40,000	7.0~9.0	150万			
		A-10H	26±1.5	8,000~12,000	1.5~3.0	50万	ポリアクリル酸	安定性良好、作業性良好、 pHにより粘度調整可能 酸性増粘	
		A-30	30±1.5	7,000~12,000	7~9	50万	ポリアクリル酸アンモニウム	焼成後、残留分なし セラミックススラリー増粘、 コーティング剤	
		A-7195	19±2	30,000~70,000(30℃)	7~9	-	カルボン酸系共重合体 (ナトリウム塩)	微架橋、低曳糸性、保水性 ラテックス・塗料増粘	
	エマルション	A-7075	20±1	5~45/25℃	2~4	-	カルボン酸系共重合体	高増粘性、高曳糸性、保水性 アルカリ可溶性増粘剤 ラテックス・塗料増粘	
		A-7055	35±1	100以下	1.5~3.5	-		高流動性、 アルカリ可溶性増粘剤 ラテックス・塗料増粘	
		B-300K	44±1	20~100(30℃)	2~3	-		低曳糸性、 アルカリ可溶性増粘剤 ラテックス・塗料増粘	
		B-500	36±1	5~50	2~4	-		経時安定性、低曳糸性、 アルカリ可溶性増粘剤 ラテックス・塗料増粘	
	レोजック	粉末	260H	7%以下	7,000~13,000(0.5%)	8.0~9.0(0.5%)	-	架橋型ポリアクリル酸 ナトリウム	透明性良好、曳糸性および、 粘着性全く無し チキソ性増粘、ダレ防止
			845H	7%以下	7,000~14,000(0.5%)	7.0~8.0(0.5%)	-	架橋型アクリル系ポリマー	塩類の影響少 化粧品・医薬品・農業用、 シャンプー、歯磨き、ローション
ジュンロン	粉末	PW-120	5%以下	8,000~20,000 (0.2%中和、25℃)	2.5~4.0(0.2%)	-	架橋型ポリアクリル酸	NaOH、アンモニアなどの 任意のアルカリ剤で中和可能 有機溶剤の増粘可能 (可溶化剤使用) 化粧品・医薬品・農業用、 シャンプー、歯磨き、ローション	



ポリマー・オリゴマー事業部 ポリマー部

本社営業部 〒105-8419 東京都港区西新橋1-14-1 TEL:03-3597-7337

大阪支店 〒530-0005 大阪市北区中之島3-3-3 TEL:06-6446-6564

名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦1-4-6 TEL:052-209-8593

作成:2010年1月5日

改訂:2025年-01版

ここに掲載されている内容は細心の注意を払って行われた実験事実に基づくものですが保証値ではありません。